

コロナウイルス関連 公開情報取りまとめ
～2020年4月2日（木）20時現在～

在サンパウロ日本国総領事館

1 サンパウロ州

4月2日（木）発表

- 2日（木）20時現在、州内の感染者は3506人（前日2981人）、死者は201人（同164人）。新たにサン・ヴィセンテ市、プライア・グランデ市、フランシスコ・モラト市、イタクアケセツバ市、アルジャー市で死者を確認、死者が出たのは州内計21市になった。なお男性死者は117人、女性は91人。
- 2日（木）午前、ドリア州知事は南部・南東部7州の州知事とビデオ会議を実施。南部・南東部7州は伯の人口・経済の中心であると共に、コロナウイルスによる感染者数・死亡者数が集中。同地域の経済・社会の崩壊を回避するため、7州知事は連邦政府に対して連名で経済対策を要請する書簡を发出。
- サンパウロ市は、22万世帯の27万3千の児童を対象に、2日（木）より食料カードを配布。休校中のため給食が食べられない児童のための対策。
- サンパウロ州は、零細企業のためのマイクロ・クレジット融資額の1億5千万リアル増額を決定（これまで決定された融資額とあわせると計6億5千リアル）。
- サンパウロ市は、アニエンビー国際展示場内の仮設病院（2日現在で全1800床のうち887床を設置）に90日間勤務するカウンセラー50人をオンラインで募集。職業支援センターで試験を実施し採用へ。
- サンパウロ州内のマスク生産能力を拡張。サンパウロ市のほか、アララクアラ市、イタイー、トゥピーパウリスタ、アンドラジーナ市内の刑務所で生産を始め、目標は5万枚/日。
- サンパウロがんセンター（Icesp）は3月30日（月）より遠隔診察を実施。コロナウイルスの感染拡大防止策の一環。対象者はSMSを通じて事前に連絡を受け、電話で医師と相談。処方箋は通常通り出される。
- サッカー博物館（サンパウロ市）の教育チームは、コロナウイルスの感染が広がる中、孤独を募らせる高齢者を対象に電話やビデオ通話での会話に応じている。社会的な連帯強化の一環。本プロジェクトは”Revivendo Memórias #EmCasa”（「あの記憶を家で」）とされ、火～金の10～11時、15～16時に応対。
- キンピーナス州立大学クリカス病院はコロナウイルスの検査を開始。最初は入院患者や医療従事者を優先。
- サンパウロ大学サン・カルロス物理学研究所（IFSC）は、州内陸部サン・カルロス市のサンタ・カーザ病院に対し、院内の床や設備等に付着する菌やウイルスによる感染防止用として紫外線除菌モップ2機を譲渡した。
- パウリスタ州立大学生物化学研究所（ボツカツ市）は、緊急かつ一時的な対応として、アルコール除菌水の製造を開始。同市内の主要公共部門の従事者や貧しい人たちに無料配布する。
- サンパウロ市立動物病院は、外出自粛措置中（クアレンテーナ）の診察は緊急を要する場合のみへ。

2 マット・グロッソ州

4月1日（水）～2日（木）発表

- 2日（木）18時半現在、感染者は41人（前日28人）で、うち州都クイアバ市が25人。死者はなし。
- 1日（水）、同州政府は、コロナウイルスの感染拡大で経済的に困難な状況にある恵まれない人たちを支援すべく、州内141の自治体を対象に850万リアルを拠出すると発表。
- 1日（水）、クイアバ市はコロナウイルスの感染拡大防止に向けた政令に従わない飲食店等を摘発すべく、専用通報ダイヤル（+65）3616-9614）を設置中と発表。23日（月）～1日（水）に約千件の通報があった。

3 マット・グロッソ・ド・スル州

4月2日（木）発表

- 2日（木）10時現在、州内の感染疑いは28人（前日39人）、感染者は53人（同51人）、死者は1人。感染疑い、感染者ともに半数以上が州都カンポ・グランデ市内で確認。なお、カンポ・グランデ国際空港等では、到着した乗客の体調検査を継続。29日（日）以降、約1700人が対象となった。（了）